

# 生物多様性と私たちの暮らしについて考えてみよう

～“生物多様性さっぽろビジョン”ができました～

札幌市の鳥はわたくしカッコウなのです。一緒に生物多様性について考えてみるッコー



カッコウ先生

はじめに



## 生物多様性とは

私たちの周りには個性豊かな様々な生き物が暮らししており、それぞれがつながり合って互いに支えています。このようなつながりのことを生物多様性といいます。

生物多様性には右の3つの多様性があります。

### 1 生態系の多様性

山・川・海・まち、たくさんの種類の自然環境があります。

### 2 種の多様性

動物・植物・昆虫、たくさんの生き物がいます。

### 3 遺伝子の多様性

色・形・模様、たくさんの個性があります。



## 生態系サービス

生態系サービスとは生物多様性がもたらす恵みのことをいい、このサービスのおかげで私たちは人間らしい豊かな生活を送ることができます。

### ●すべての生命の基盤です

植物が酸素をつくり、微生物が豊かな土壌をつくるなど、多くの生き物の営みによって、生命の生存環境が支えられています。

### ●生活の糧です

多様な生き物は、衣服・食物・木材・燃料・医療品など生活に必要なさまざまな資源として、衣・食・住を支えています。

### ●豊かな文化の根源です

地域の多様な生態系や生き物は、精神的豊かさ、自然観などの形成に寄与し、祭り・宗教・郷土料理など、地域の自然に根づいた文化の形成の土台となっています。

### ●生活の安全を支えます

豊かな森林は水を蓄え、二酸化炭素を吸収する機能を持つほか、土砂崩れの防止、防風などの機能を持っています。

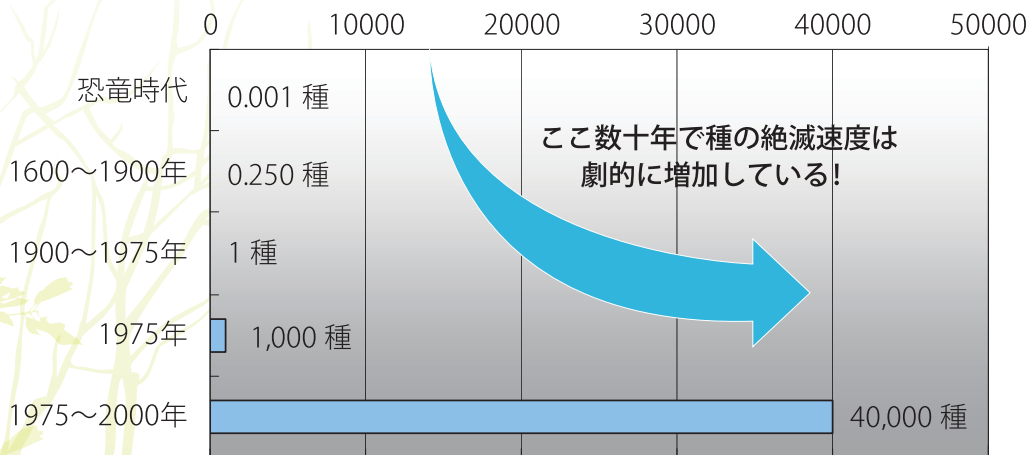




# 生物多様性の危機

地球上には、知られているだけで約175万種、未知のものも含めると3,000万種とも推定される生き物が存在しています。しかし、現在、人間の活動が原因で1年間に4万種ともいわれるスピードで生き物の絶滅が進んでおり、将来的には人類も存亡の危機に直面することが懸念されます。

今、生物多様性の喪失は温暖化と並ぶ深刻な地球環境問題となっています。



出典：平成 22 年版環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書(2010 年) (環境省)



私たちは、私たちの暮らしが世界の生物多様性にどのような影響を与えているかを理解し、その保全に努めていく必要があります。



綿花栽培のための灌漑  
～アラル海の乾燥化～



エビ養殖池の造成  
～マングローブ林が減少～

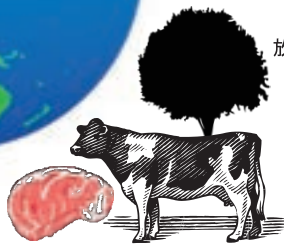
安価な輸入材で大量生産・消費  
～原生林が減少～



レアメタル採掘による森林伐採  
～ゴリラの生息地が減少～



放牧や農地の拡大  
～森林破壊～



## ●「外来種」って知ってる？

もともといなかった地域に、人為的に持ち込まれた生き物を「外来種」といいます。外来種の中には在来種を駆逐し、その生態系に大きな被害を及ぼす「侵略的外来種」もあり、各地で問題となっています。

一度持ち込まれた外来種を排除することは困難です。「入れない・捨てない・拡げない」の外來種被害予防3原則を守ることが大切です。

みんなも日頃から気を付けるッコー



## ● 遺伝子の多様性を守るために

遺伝子レベルで見ると、同じ種でも地域ごとに固有性がある場合があります。他地域から不用意に生き物を持ち込むと、固有のものとの交雑が起こるなど、地域固有の生物多様性が失われるおそれがあります。

遺伝子の多様性を守るため、例えば、魚などを放流するときは、少なくとも同じ水系の集団に由来するものを選ぶなどの配慮が必要です。



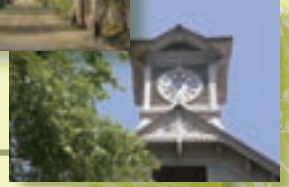
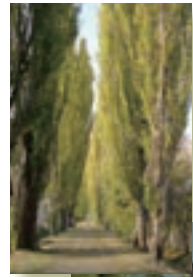




# 生物多様性さっぽろビジョンの概要

札幌市では、左ページのような危機に立ち向かうため、下記の認識に基づき、生物多様性の保全を推進していきます。

- ① 札幌市内や周辺の生態系に対する人間活動の影響は大きい
- ② 札幌市は一大消費都市であり、地球の生物多様性に及ぼす影響を無視できない
- ③ 生物多様性の保全に取り組むことは、地域色豊かな自然や文化を守り育てることであり、都市ブランドの向上につながる



理念

## 北の生き物と人が輝くまち さっぽろ

目標

豊かな生物多様性と共生する都市づくり

生物多様性に配慮したライフスタイルの実践

伝統資源の継承及び創造

推進する施策

土台形成 意識・参加・連携

### 施策の柱1 「理解する」

生物多様性に対する理解を深めます

- ① 自然とのふれあいの場の充実
- ② 環境教育・普及啓発
- ③ 調査分析・情報共有
- ④ 生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する技術の向上



### 施策の柱2 「協働する」

生物多様性の保全に皆で取り組みます

- ① 活動主体の育成、支援
- ② 連携の仕組みづくり

実践行動 保全・持続可能な利用

### 施策の柱3 「継承する」

生物多様性を守り育て、将来に伝えます

- ① 生息・生育環境の保全と拡大
- ② 野生生物をめぐるトラブルの軽減
- ③ 環境負荷の低減
- ④ 歴史的文化的資産の継承



### 施策の柱4 「活用する」

生物多様性の持続可能な利用を進めます

- ① 自然を活かすライフスタイルの推進
- ② 環境に配慮した消費行動の推進
- ③ 持続可能な社会経済活動への活用

### 自然体験

市民活動団体や企業が主催するエコツアー



### 自然観察会

企業、大学などが指導者となった市民向けの観察会



▲コウモリ観察会

### 生き物調査

市民や多数の団体が参加した植物一斉調査



◀北海道フラワーソン

### ●自然環境の保全に向けて

札幌市・市民活動団体・事業者等では、すでに生物多様性の保全に寄与する様々な取組が行われています。当面は、これらの取組を継続しつつ、更なる取組の拡充や見直しを図ります。

また、札幌市では、生物多様性マップの作成や生物多様性関連施設のネットワーク化など、生物多様性の保全や普及啓発に関わる様々な取組を進めていきます。

### ●札幌の地名がついた動植物

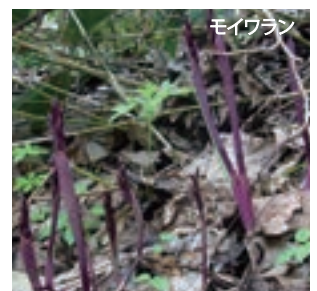
札幌市域には南方系の生物と北方系の生物が多様に生息・生育し、これまで、およそ6,000種もの生物種が記録されています。その中には、昆虫ではサッポロフキバツタ、ジョウザンシジミ、モイワサナエなど、植物ではモイワラン、モイワナズナ、モイワシャジンなど札幌の地名がついた生き物もいます。



サッポロフキバツタ



モイワサナエ



モイワラン

# 私たちができること

私たちの暮らしを支えてくれている生き物たちを守るため、私たちができることはたくさんあります。身近な生活を見直して、今すぐできることから始めてみませんか？

## ●食べ残しなどの食品廃棄物を減らしましょう。

日本で排出される食品廃棄物は、1年間に約1,900万トンとされています。食べ残しや買いすぎ、作りすぎをせず、食品廃棄物を減らすことは、生態系サービスの無駄遣いをなくし、有効利用を進める大切な取組です。



## ●省エネルギーなど地球温暖化対策に取り組みましょう。

温暖化が進み、世界の平均気温が1.5～2.5℃上がると、20～30%の生き物が絶滅するおそれが高まると予測されています。省エネルギーなど温暖化対策に取り組むことも、生き物の生息・生育環境を守ることにつながります。

## ●環境に配慮した製品を選びましょう。

近年、木製品や水産物、農産物について、生物多様性に配慮した方法で生産されている製品を第三者機関が認証する取組が進められています。私たち消費者は、こうした製品を選ぶことでも生物多様性を守ることができます。



海洋管理協議会  
(MSC)の  
「海のエコラベル」



森林管理協議会  
(FSC)の  
認証マーク

さっぽろとれたてっこは  
環境配慮型の  
農産物に与えられる  
札幌市のブランドです。



## ●北海道産の食材や旬のものを選んで食べましょう。

地域でとれたものをその地域で消費する地産地消や旬のものを食べることは本来の自然の姿です。地産地消などは農地等の生態系の保全や、輸送・生産に必要なエネルギーの削減につながります。

## ●自然観察や自然体験の機会を増やしましょう。

自然とのふれあいは、身近な自然や生き物に対する興味や関心を深め、家庭や地域での対話や生物多様性に対する理解を広げます。また、地域の魅力を再発見・創造するきっかけになります。



生物多様性の喪失は目に見えないところでも着実に進んでおり、私たちの生活に影響を与えています。

今こそ、“市民力”を活かして、本ビジョンの理念である

**「北の生き物と人が輝くまち“さっぽろ”」**

を実現するため、ともに考え、ともに行動しましょう！



みんなも  
始めるッコー

お問い合わせ先

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目  
札幌市環境局環境都市推進部環境共生推進担当課  
TEL 011-211-2879 FAX 011-218-5108

生物多様性さっぽろビジョンは札幌市のホームページからご覧いただけます。  
URL: <http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/>